

# 心一つに夢かなえた

暴風雨の中、支援者に車椅子を引かれて登頂を果たした  
中岡亜希さん(中央)―富士山頂付近で29日午前4時半



かったが、中岡さんは「障害があっても力を合わせれば夢はかなう。みんなが一生懸命、ロープを引っ張ってくれ、気持ち伝わった」と涙ぐんだ。

中岡さんは昨年9月にも、自ら理事を務めるNPO法人「希少難病患者支援事務局(京都市)の支援者らと臨んだが、悪天候のため6合目付近で断念。今回は28日に静岡県側の富士宮口から登り始め、夕方に9合目に到着。29日午前1時半に山小屋を出発し約30人が交代で車椅子を引いた。風速20メートルを超える暴風雨や霧の悪天候だったが、午前4時半ごろに登頂した。三浦さんは「厳しい状況もあったが、みんなで心を一つにして成功し、感激している」と話した。

【山田尚弘、写真も】

宇治の難病女性  
富士登山に成功  
手足の先から徐々に  
筋力が失われる難病

「遠位型ミオパチー」を患う京都府宇治市の中岡亜希さん(33)が29日早朝、プロスキーヤー

郎さん(77)―札幌市―ら約40人の支援者に車椅子を引かれて富士山登頂を果たした。悪天候でご来光は見られな